

戸田市長 **すがわら文仁**



2月10日 **岸田文雄 内閣総理大臣**と **永岡桂子 文部科学大臣**が**戸田東・小中学校**を視察！



【会見で「卒業式はマスク着用なし」と発表】 【4年生の授業を視察する岸田総理と菅原市長】

令和5年度の重点政策（当初予算案）について

社会がウィズコロナへと移行する一方、依然として原油価格・物価高騰の影響等により社会経済の先行きは不透明です。戸田市では少子化対策や子育て支援、高齢社会への対応、さらに市内公共施設の計画的な改修や建替えといった負担増が見込まれております。新たな市民ニーズも踏まえ、限られた財源を有効に活用しながら優先順位を決めて必要な施策を進めてまいります。

令和5年度 当初予算案

一般会計

590億6,000万円

(前年度比 +26億4,000万円 +4.7%)

特別会計合計

235億7,569万4千円

(前年度比 +8億3,384万4千円 +3.7%)

全会計合計

826億3,569万4千円

(前年度比 +34億7,384万4千円 +4.4%)

戸田市の財政案内人
おさいふくん

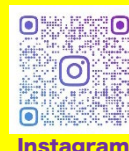


【討議資料】菅原文仁プロフィール 昭和50年7月30日生まれ(47歳)
戸田市立美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業(教員免許)
明治大学大学院修了(公共政策)元社会体育会社起業、戸田市議(2期6年)
埼玉県議(2期7年)、平成30年3月第4代戸田市長就任～現在に至る

【家族】両親・妻・娘・息子【趣味】読書・ランニング【座右の銘】上杉鷹山公の「なせば成る」

◆事務所◆ 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL/FAX 048-432-3585 mail@sugawarafumihito.com

菅原文仁のまじめな政治活動を応援するサポーターを募集しています。お問い合わせは事務所までお願いします。



Instagram



facebook



Twitter

令和5年度当初予算案に提案している「3大プロジェクト」

子ども応援プロジェクト

新 全小中学校への電子黒板機能付きプロジェクタの導入 (664,267千円)

児童生徒の学習意欲・理解力の向上や授業効率のアップを目指すため、
全小中学校の全ての教室に電子黒板機能付きプロジェクタとホワイトボードを導入
⇒ 教師と児童生徒や児童生徒同士の対話生まれやすい基盤を整備し、協働的な学びを推進

- 設置対象学校
小学校11校、中学校5校 ※戸田東小・中学校は導入済み



新 全小中学校トイレ洋式化とバリアフリー化に向けた設計業務 (45,514千円)

令和7年度までに全小中学校の「トイレ洋式化100%」と「バリアフリー化」の実現にむけた設計業務

- 整備内容
トイレの洋式化、バリアフリー設備(車椅子用トイレ・スロープ・エレベーター等)
- 事業スケジュール
令和5年度 改修工事設計業務
令和6年度・令和7年度 改修工事实施【トイレの洋式化71% → 100%】



拡 全小中学校RST授業改善研究事業 (9,188千円)

学力向上と深い相関があるリーディングスキル
(読解力)の向上を目指し、読解力診断ツール
を活用しながら授業改善につなげる

【リーディングスキル(読解力)】
図表も含めたあらゆる言語化された情報を
正確に読める力、AI(人工知能)に代替され
ないためにも必要となる力



拡 教育支援センター「すてっぷ」の拡充等 (34,102千円)

不登校児童生徒の居場所となる
教育支援センター「すてっぷ」の
利用状況を踏まえ、
西部地区に「すてっぷ」を増設
全小学校の「ぱれっとルーム」とともに
児童生徒の多様な学びの場を整備



拡 防犯カメラによる見守り体制の強化 (4,781千円)

町会設置の防犯カメラ73基を市へ移管

「町会設置カメラ」と
「戸田市の見守り防犯カメラ300基」を
一体的に運用し、犯罪抑止力を強化



拡 交通安全施設の更新・整備 (36,281千円)

埼玉県通学路整備計画(5か年)を前倒し・期間短縮
令和3年から小中学校の通学路等の危険箇所や
交通安全対策が必要な箇所へ4年間で
施設の更新・整備

・ 車止めや路面標示等を18箇所設置



新 こども家庭センターの設置 (52,242千円)

妊産婦や虐待を受ける子ども、ヤングケアラーを含め、全ての子育て世帯への
一体的・包括的な支援を行うため、こども家庭センターを設置し、人員体制を強化

- ・ 家庭児童相談員の増員(3名→5名)
- ・ ヤングケアラーコーディネーター等の専門的な人員を新たに配置

【国庫支出金14,320千円、県支出金2,318千円、諸収入335千円】



拡 出産祝い子育て応援ギフト事業 (9,676千円)

令和5年4月1日以降に出生したこどもがいる子育て世帯へ
子育て応援ギフト5,000円を配付
(子育てグッズを購入できるAmazonギフトカード
を想定)
戸田市の事業実施により、埼玉県の新規事業
である埼玉県子育てファミリー応援事業
(1万円相当のギフトボックスを配送)対象



拡 こどもの新たな居場所の創出 (9,303千円)

こどもやその保護者にとって居場所情報の見える化
を図るため、居場所サイトを開設し、
情報発信を強化

団体や企業、自治会などと連携し、
新たな居場所づくりに繋げることで、
こどもの社会的孤立を防止



100年健康プロジェクト

新 スマートウェルネスシティ推進プランの策定 (8,030千円)

スポーツ推進やシニア活躍推進、まちづくり・公園整備を通じた賑わい創出など、健康づくりに寄与する取組を包含した総合計画として「スマートウェルネスシティ推進プラン」を策定

- ・ 賑わい創出や自然と歩きたくなるなどの「運動によるまちづくり」
- ・ 食の大切さ、健康メニューの発信などの「食による健康づくり」
- ・ シニアの活躍、生きがいなどの「社会のつながりによる健康づくり」



新 まちなかウォーカブル推進事業 (20,537千円)

市内3駅周辺の街路や公園などの公共空間を歩きたくなる場所へ転換し、人々が交流できる賑わいの場を創出する「まちなかウォーカブル推進事業」を推進
⇒ 「都市の魅力向上」とともに、「健康維持・増進」へも寄与

■ 令和5年度の主な取組

北戸田駅周辺を対象に、官民連携による協議会を設置し、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を目指すための「将来ビジョン」を策定



拡 キッズ健幸アンバサダー養成プロジェクトの本格実施 (14,918千円)

市内小学校にオリンピック・パラリンピアンを招き、小学生が「健康における運動の楽しさや大切さ」を学ぶための授業を実施

授業を受けた小学生がキッズ健幸アンバサダーとして、運動の大切さを家族や地域の高齢者に伝え、市民がスポーツに慣れ親しむことを目指す

⇒ 令和5年度は5校へ拡大予定

【国庫支出金10,000千円】



新 がん患者への独自支援制度の創設 (10,173千円)

「戸田市がん対策推進条例」の制定に伴い、がん患者の外見の変化に伴う苦痛の軽減やがん患者の家庭への支援として、2つの戸田市独自の補助金を創設

- ①医療用補正具購入費補助（ウィッグや補正下着など）
- ②若年がん患者ターミナルケア在宅支援事業補助（終末期に在宅での療養を支援するターミナルケア）

新 食生活改善による健康づくり (608千円)

とだPR大使鳥羽周作シェフや女子栄養大学・日本薬科大学などと連携した取組の企画・発信

「食」への興味・関心を高め、健康的な食習慣意識を醸成し、健康寿命の延伸につなげる



新 TODA元気体操の充実と地域資源マップの制作 (7,440千円)

介護予防活動等の社会的資源を集約した「地域資源マップ」を作成し、高齢者や医療関係者等への情報発信を強化

「TODA元気体操」を充実させ、高齢者が地域とのつながりを通じて生き生きと自立した生活を送るための介護予防活動を活性化

【戸田市が目指す社会的処方による医療・福祉・地域連携】

医師が患者の健康の社会的決定要因を掘り下げ、患者の健康が改善されるよう「患者」と「地域の社会的資源」をつなげる



新 シニア活躍推進プランの策定 (5,280千円)

人生100年時代に向けて、シニア世代が生きがいをもち社会参加できる環境をつくることを目指す

■ プラン策定の考え方

- ・ 個々の生き方を尊重する
- ・ 官民の様々なメニューを「見える化」
- ・ 潜在的なやる気と力を掘り起こす



新 戸田市立健康福祉の杜大規模改修 (27,610千円)

施設の老朽化に伴い、大規模改修のための設計を実施
※特別養護老人ホームやデイサービスなどの施設サービスは、改修中も継続して提供

■ 事業スケジュール

令和5年度 設計実施
令和6年度～令和8年度 大規模改修



防災プロジェクト

【拡】実践的な防災訓練の実施 (18,986千円)

地域防災力の向上と適切な避難行動を促すため、
現実に即した実践的な防災訓練を実施

- 災害事例を踏まえた主な訓練
 - ・ 住民版防災訓練
 - ・ 避難所開設、運営訓練
 - ・ ブラックアウト訓練
 - ・ 水害避難訓練
 - ・ ペット同行避難訓練



【新】「バーチャル浸水体験」の導入 (2,849千円)

AR (拡張現実) など先進テクノロジーを
活用した浸水被害を疑似体験できる機器を
導入

水害避難訓練やまちづくり出前講座等で
市民がバーチャル浸水体験

⇒ 子どもから大人まで災害リスクを直感的に理解



【新】中学生防災士の育成 (3,200千円)

災害発生時の共助の担い手を増やすため、
「中学生」を対象とする

防災士資格取得支援補助金を創設

- ・ 市内中学校から合計約70名の取得を目標
- ・ 資格取得費用は、一部費用を除き全額補助



【緑】東部分署改築工事の実施設計 (98,297千円)

東部分署の消防活動拠点機能の強化を図るため、
改築工事の実施設計を行う

- 事業スケジュール

令和5年度
令和6年度～令和7年度
令和8年度

実施設計
改築工事
運用開始



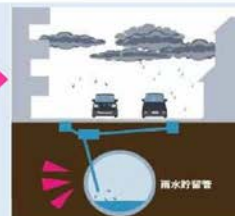
【緑】北大通り地下に雨水貯留管を整備 (1,449,500千円)

戸田駅西口から山宮橋付近までの北大通り地下に雨水貯留管
(内径6m、延長約920m)を整備

⇒ 25mプール約86杯に相当する26,000m³の貯留を実現

- 事業スケジュール

令和3年度～令和6年度 工事実施
令和7年度 供用開始



【国庫支出金724,750千円】

令和5年度の主な取組 (3大プロジェクト以外の取組)

【新】プレミアム商品券の発行 (99,020千円)

コロナ禍や物価高騰の影響を受ける
市内経済を下支えるため、プレミアム
商品券を電子商品券として販売
⇒ 事業者支援と市内消費の活性化へ

- プレミアム商品券の概要

- ・ プレミアム率20%
- ・ 1セット額面12,000円の商品券を10,000円で販売



【緑】公共施設等総合管理計画の改訂 (6,720千円)

市民ニーズや社会情勢の変化に対応するため
公共施設等総合管理計画を改訂

- ・ 複合化を検討するとされている西部福祉
センターと美世中学校のあり方について
住民アンケートを実施



※また、戸田市スポーツセンター等のあり方についても検討開始

- 【新】スポーツセンターのあり方の検討業務 (7,150千円)

【緑】全公共施設の照明器具をLED化 (102,188千円)

市内の全ての公共施設の照明器具を、
従来の蛍光灯や水銀灯から省エネ効果の
高いLED器具へ交換

⇒ 環境負荷を軽減し、
年間約5,500万円の電気料削減を見込む

※LED化は施設の種類・状況に合わせ、
リース契約又は修繕



【緑】公園のリニューアル工事 (137,245千円)

地域のニーズをワークショップ等により取り入れ、
上戸田地区の大前公園の大規模な改修整備

開設から30年以上経過した公園の中
から、地域に親しまれるポテンシャル
がある公園をモデル公園に選定



【緑】第70回戸田橋花火大会の開催 (159,522千円)

4年ぶりの戸田橋花火大会をゆったりと
楽しめるよう、有料席エリアを拡大
観覧者の増加に対応できるよう、交通整理など
警備体制を強化

⇒ 安心・安全な戸田橋花火大会を
4年ぶりに開催へ



【緑】2050年ゼロカーボンシティを見据えた 戸田市環境基本計画の改定 (5,000千円)

2050年ゼロカーボンシティ実現のため、
戸田市環境基本計画を改定

⇒ 2030年度の温室効果ガス削減目標を
2013年度比26%から46%以上に引き上げ
引き上げに伴い、環境施策の見直し・拡充へ



【新】公共施設・スポーツ施設使用料のキャッシュレス決済導入 (52,867千円)

別々に運用している公共施設予約システムと
スポーツ施設予約システムを統合
⇒ 統合時に、キャッシュレス決済を導入
(令和5年12月)

- 公共施設予約システム
福祉センター等の市内11の施設
- スポーツ施設予約システム
スポーツセンター、彩湖・遠満グリーンパーク等のテニスコート等



【緑】市役所窓口のキャッシュレス決済拡大 (2,941千円)

キャッシュレス対象業務を拡大し、
クレジットカード、電子マネー、QR
コードによる決済導入 (令和5年12月)

- キャッシュレス決済の拡大手続き

- ・ 粗大ゴミ収集手数料
- ・ 犬鑑札交付等手数料
- ・ 保育園や学童保育室の延長保育料等



【緑】太陽光発電システムや電気自動車の導入支援 (25,125千円)

脱炭素社会の実現に向け、補助金メニューを拡充

- 環境配慮型システム等設置費補助金
 - ・ 宅配ボックス補助の新設
 - 住宅又は事業所 上限 3万円
 - 集合住宅共有部 上限10万円
 - ・ 太陽光発電の補助上限拡充
 - 個人住宅 上限15万円 → 20万円
- 電気自動車等導入費補助金
 - ・ 電気軽自動車補助の新設 補助金額10万円/台 等



【緑】LINEを活用した行政サービス拡大 (3,032千円)

LINE公式アカウントを活用し、
オンライン手続きを可能とする
行政サービスを拡大

- 対象サービス

- ・ 粗大ゴミの申込み
- ・ 犬関連の登録申請等



【緑】「書かない窓口」サービスの拡充 (4,859千円)

「おくやみコーナー」でのノウハウを
活用し、利用者が市役所窓口で申請書
を書く必要のない「書かない窓口」を拡充
⇒ オンライン申請に慣れない高齢者等
を取り残さない市役所窓口へ



【新】戸田市SDGs共創基金の活用 (22,000千円)

SDGs共創基金(令和4年度創設)を活用し、
・ 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助
・ 地域課題の解決等への取り組み補助
・ サクラソウプロジェクトの推進
などを実施

